

# 地域実習

M-02-07-T

オーガナイザー 実施責任者  
教育研究開発センター 教授 村田 顕也

I 対象学年 2年生

## II 目的

### ① 保育園実習

医療人としての豊かな人間性涵養を育むため、乳幼児とふれあい、乳幼児の特長を理解し、乳幼児とのコミュニケーション能力を身につける。また、実習を通じて、育児を支援する保育園の現状を学ぶ。

### ② 障害者福祉関係施設実習

大学病院ではほとんど経験することが出来ない障害者福祉施設での実習を行うことにより、ケアマインドを育成する。障害者への医療・福祉の現状について理解を深めることにより、医療人としての資質の向上に努める。

## III 到達目標

1. 医療面接における基本的なコミュニケーション技法をもちいることができる。
2. 言語性コミュニケーション技法を用いて良好な人間関係を築くことができる。
3. 非言語性コミュニケーションを意識できる。
4. 対人関係に関わる心理的要因を認識しながらコミュニケーションができる。
5. ライフサイクルの視点で患者の課題を検討できる。

IV 実施期間 令和7年 9月 1日（月）～ 9月12日（金）

V 実習詳細 和歌山県立医科大学の医学部学生であるという誇りと自覚を持って臨むこと。  
オリエンテーションを開催するので必ず出席すること。  
別途、地域実習心得および諸注意事項を配布するので交通手段・服装など内容を確認すること。  
施設への交通手段は、原則公共交通機関を利用すること。（自家用車の使用は禁止）

## VI 評価の方法

地域実習および説明会には必ず出席すること。

成績評価は、実習報告書（25%）実習先での評価（25%）地域実習報告会での発表内容とグループ評価（25%）感想文（25%）をもとに算出する。

実習先から実習態度等について問題があると報告があった場合は不合格とし、単位を認めないことがある。

	1 基盤的 資質				2 医師 としての 基本的 資質				3 コミュ ニケー ション能 力				4 医学的知識								5 医学の実践								6 医学的(科学 的)探究				7 社会 貢献											
	問題解決型能力	情報技術	語学能力	社会人としての一般教養	倫理観	チーム医療	自己啓発	人間関係の構築	情報交換	細胞の構造と機能	人体の構造と機能	疾病の発達、成長、加齢、死	検査・画像診断技術	基本的診察知識	疾病の診断・治療方法	ITの活用	生物統計、疫学	行動科学・医療経済	法令、研究倫理	患者尊厳	基本的臨床技能	臨床推論・検査所見・画像診断	診療録作成	治療選択	救急医療	緩和・終末期・看取りの医療	介護と在宅医療	患者説明	医療安全・感染予防	予防医学	副作用・薬害	プレセンテーション技能	和歌山県医療	保健制度	基礎医学研究	臨床医学研究	社会医学研究	研究成果の公表	研究倫理の実践	地域貢献	福祉活動	ボランティア活動		
卒業時コンピテンシ	C	C	E	B	C	C	C	C	B	C	F	E	B	E	F	F	F	E	E	E	E	C	C	F	F	F	F	C	B	C	C	E	F	C	B	E	F	F	F	F	F	C	B	C